



山北 清四郎 議員

問 2学期制の成果は

答 学力の分析は確実に前進している

問 学校教育について
① 2学期制の成果の整備、特に老朽化したプールについて③ 芝生化普及についての考えを伺う。

教育長

① 2学期制は、1年間を10月の第2月曜日、体育の日を境に、前期と後期に分けた取り組みで、子供たちの学びがどれだけ充実しているか、子供たちが学校生活に満足しているか、言い換えれば、子供に確かな学力が身につけてきたか、意欲的に学校生活を送っているかが大きなポイントになる。

学力調査の結果を見ると、ここ3年間の子供の学力状況の分析は、穏やかながらも確実に前進している。さらに、勉強がわからない児童・生徒の割合が減少し、基礎的な学力が着実に伸びている。

学力・学習状況が向上している要因は、2学期制の導入に伴い、年間を通しての学びの連続性を、先生方が意識して改善に取り組んだことが考え

られる。これからはさらなる2学期制の充実のもとに、企業も取り込んだ町全体での教育環境の向上を念頭に児童・生徒の育成に努めていきたい。

② 学校施設、設備の整備について、現在、大莞小学校管理棟大規模改修工事を実施している。

平成24年度当初予算で大溝小学校の増改築工事、また第5次総合計画の中で、全小・中学校普通教室へのエアコンの新設などを実施する予定。

特に学校プールの整備については、すべての学校プールが当初完成時期から相当の時期を経過しているため、改修を要する状態にある。新年度において専門機関による診断等の実施に向け検討しているところで、診断結果を受け、整備方針を検討したい。

③ 芝生化については、大莞小学校で地域の皆さんの協力のもと、立派に中庭及び運動場が芝生化となり、残る木佐木小学校及び大溝小学校の芝生化への取り組みについては、

芝生の植え付けやその後の地域の皆さんの協力を得なければできない。教育委員会としても、学校長を通じPTAや校区民協議会等での検討をお願いし、その実施に向けての機運、体制ができる見通しとなれば、具体的な芝生化に向けた準備ができると考えている。



40年以上経過した老朽化したプール

問 スポーツ振興について、体育指導委員より名称が変わったスポーツ推進委員の育成についての考えを伺う。

教育長

スポーツ推進委員の育成について、昭和36年、スポーツ政策に関する法律で

「スポーツ振興法」の制定以来、50年ぶりに全面的に改正され、本年8月に「スポーツ基本法」が8項目の基本理念の規定のもとに施行され、従来の体育指導委員が、スポーツ推進委員と名称が変わった。



綱引きを審判するスポーツ推進委員

問

スポーツ推進委員の研修大会が県内、九州ブロック、全国大会と毎年開かれるが、研修会に参加するための予算化について教育長に伺う。

教育長

今まで指導する立場だったが、推進していくという意識を持って、いろいろなスポーツに関して、接して欲しい。そういう意味では力をつけてもらいたい、仕事をしながら協力している方が大半で、なかなか無理をお願いしているところもあり、予算等も検討して進めていきたい。

問

総合型スポーツについて、328名の会員がおられ、週に32教室のレッスンをされているア쿠アスポーツクラブは、場所的に狭いと聞かすが、実際はどうか。

会員の328名の中に、町内が40%、町外が60%の比率で、これは健康維持、医療軽減の意味からしても、町内の会員を増やすべ



充実したスポーツクラブ設備

きではないか。

生涯学習課長

温浴施設ア쿠アス、「銀河の間」でヨガやアロマストレッチの教室を行っている。

この「銀河の間」は、お客さまの休憩場所等にもなっていて、ア쿠アス側との協議が必要。クラブ側としては、次年度からの開催教室の増加、あるいは会場の変更等を検討しなければならぬ。

また、ア쿠アスのプールを利用してア쿠アピクスや、水中ウォーク等を行っているが、専用に行けるプールのような施設も、今後検討していく必要がある。



ア쿠アスポーツクラブの様子

例えば、町内の方に多く会員になつてもうために、現会員が友人や知人を紹介して入会した場合、1カ月分の会費を免除する、あるいは温浴施設内の飲食、土産品などの割引券の発行等も検討している。

町民の体力増進に向けては、平成24年度スタートする文化・スポーツ事業として、就学前の子供たちに初めての運動遊びの授業や、高齢者の人たち向けの楽しく動けるウォーキングなどの事業を検討している。



ご利用お待ちしております



プール教室の様子